

# 交通って とても便利な ものだけど

今まで行ったことのある  
いちばん遠いところはどこかな？ きのう食べたもの  
の中で、いちばん遠いところから運ばれてきたもの  
のはなんだろう？ そこまで歩いていくと何日かか  
る？ いろいろな交通手段を使えば、ふつうではと  
ても歩いていけない遠い距離を、短い時間で移動す  
ることができる。これは人間にしかできないことだ。  
交通は便利なもの。だけどふだんは交通のことあ  
まり意識していないんじゃないかな？ くらしと切っ  
ても切れない交通って、いったいなんなんだろう？

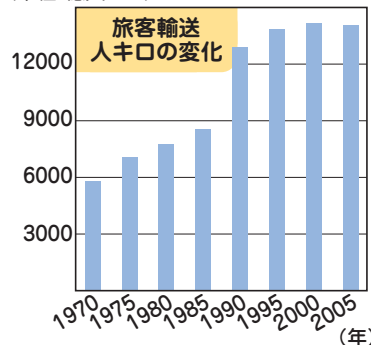
## 交通の現状

とても便利な交通だけど、大量に電気や燃料などのエネルギーを使っている。道路や駅、空港をつくるためには土地を切り開くことも必要だ。渋滞や事故といった問題もある。交通って本当に必要なのかな？

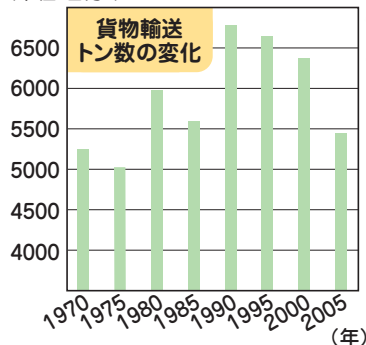
人やものの輸送によって出される二酸化炭素は、日本全体の二酸化炭素排出量の20%以上を占めている。また、川崎で出る窒素酸化物の22%が自動車によるもので、交通は環境に大きな負荷を与えているんだ。

そして、右の図に示すように、旅客や貨物の輸送量、自動車の保有台数、道路の実延長、そのためのエネルギー消費は相変わらず高水準で推移しているよ。

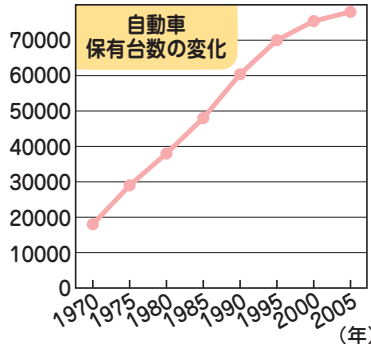
(単位:億人キロ)



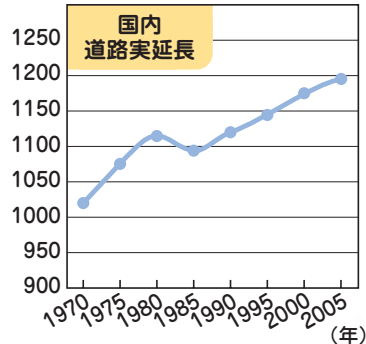
(単位:百万t)



(単位:千台)



(単位:千km)



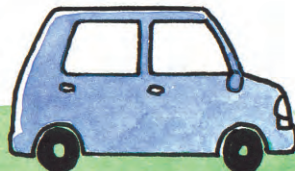
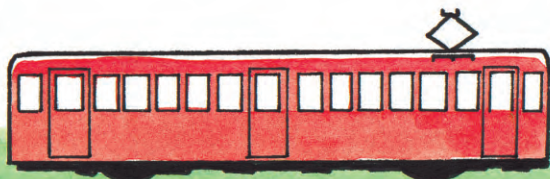
(『陸運統計要覧』2007年度版より)

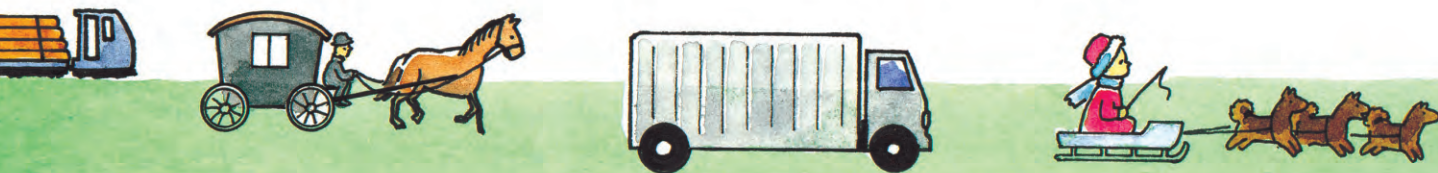
人と人がつながり合うために  
大切なことなんだね

## そもそも交通ってなんのためにあるんだろう？

交通がなかったらどうなるんだろう？ 会う人や手に入る物が、歩いていける距離にいる人やものだけになってしまうよね。そんなこと考えられる？ 交通手段があって、人やものが移動するってこ

とは、人と人とのつながりを広げることになるんだね。これはとても大切なこと。環境に影響があるからといってなくしてしまうのではなく、上手な使い方や交通システムを工夫することが必要なんだ。





## ■ものを運ぶということ

### 自分が移動しなくても、交通を利用しているよ

日本国内の貨物の輸送量を平均してみると、1日ひとり約150kgのものを約80km以上も移動させていることになる。この数字には工場などの産業用の貨物も入っているから大きいけど、海外から運ばれてくる分は入っていない。ちょっとすごくないかい？自分が移動するよりもはるかに多くのものが動いているんだ。交通の問題について考えるとき、ものの移動は無視できないなあ。

- 私たちにできること**
- 近くでとれたもの、生産されたものを買う。
  - 荷物はまとめて送ったり、不要な包装<sup>ほうそう</sup>を減らす。

かんきょう

## ■環境のことを考えた交通システムや街づくりの取り組み

交通を使う人と行政が協力することで、環境にやさしい街づくりに取り組んでいる地域があるよ。

こうした取り組みの多くは、自家用車の利用を減らすことを目的にしているんだ。

### 街の中心に車が入らない工夫

#### LRT (フライブルグ)

ドイツ南部の町フライブルグは、環境にやさしい町として有名です。LRT (Light Railway Transit) という新型の路面電車を導入して、市の中心部への車の乗り入れを制限しています。

LRTは市街地<sup>しやうがい</sup>ではゆっくり、郊外では高速で走る、床が低くて自転車<sup>じてんしゃ</sup>と乗れる、高齢者にもやさしいなどといった特徴があります。



駐車場やLRTのりば、車道などがならば、郊外の駅

#### パーク・アンド・ライド (鎌倉)

観光客が多いわりに道路がせまい鎌倉では、中心地から少しはなれた駐車場<sup>ちやうしやじやう</sup>に車を停めて (パーク)、公共交通に乗って (ライド) 中心部に入る、パーク・アンド・ライドというシステムを運用しています。

### Think & Do 交通っていても、いろいろな方法がある

- いろいろな交通手段の特徴、すぐれた点、問題点を話し合ってみよう。
- 自家用車、バス、電車、飛行機、自転車をくらべて、ひとりが100km移動するのに必要なエネルギーはどのくらいちがうか調べてみよう。

## ■IT(情報通信技術)の可能性

コンピュータ・ネットワークで品物の発注や発送を管理することで、ムダの少ない物流に取り組んでいる会社が増えてきている。ITが進めば、実際に人やものの移動を少なくすることができるかもしれないんだ。将来は学校や会社に行かなくても、ITを利用することで家で勉強したり仕事をしたりできる世の中になることも考えられているよ。

### Think & Do 交通の未来

- 交通のために使うエネルギーを減らすためには、どんな方法があるか考えてみよう。
- 環境のことを考えたとき、今使っている交通手段よりもいい方法がないか考えてみよう。なにをするとき、どんな乗り物からどんな方法へ、というように整理しよう。

### つながっているよ

#### 「大気」p18

以前は工場から出る汚染物質<sup>おせんぶつしつ</sup>で公害が起こっていましたが、最近<sup>さいきん</sup>は自動車の排気ガスによる問題が大きくなっています。

#### 「森林」p20

#### 「生き物」p22

産業革命以降、人間は交通を便利にするために森林を減らし、道を舗装<sup>ほそう</sup>して自然の循環<sup>じゆんかん</sup>に大きな影響を与えています。